

## 1408 高脂血症とライフスタイルの関係—コ ーホート研究

財団法人 郡山市健康振興財団 健康センター<sup>1)</sup>、  
東海大学 医学部 基礎医学系 医学教育・情報学<sup>2)</sup>  
○宗形 美由紀<sup>1)</sup>、大櫛 陽一<sup>2)</sup>

**【目的】**当施設は1999年より問診票にライフスタイル項目を加えている。脂質判定とライフスタイルの関連を男女年代別に調べた。

**【対象】**20~59歳の1999年健診受診者7964人の内、夜勤者を除く、脂質異常がないもの(中性脂肪:男性1125人 女性706人/総コレステロール:男性1515人 女性903人)のBMIとライフスタイル13項目と2003年の脂質判定を比較した。

**【方法】**日本総合健診医学会の男女別5歳毎基準範囲を用いて、中性脂肪・総コレステロールの判定とBMIとライフスタイルの相関係数を算出し、これをもとに男女年代別(10歳毎)に各判定とライフスタイル項目を投入してロジスティック回帰分析を行った。

**【結果】**高中性脂肪:20代男性は通算喫煙年数(長い\*)、30代男性はBMI(高い\*\*),40代男性は現在喫煙本数(多い\*)、20代女性はBMI(高い\*)、30代女性はBMI(高い\*\*\*)、40代女性は朝食回数(少ない\*\*\*)、50代女性は外食回数(多い\*)に有意差がみられた。高コレステロール:40代男性は入眠時刻(遅い\*)、50代男性はストレス日数(多い\*)、40代女性はBMI(高い\*)に有意差がみられた。(\*:P<0.05 \*\*:P<0.01 \*\*\*:P<0.001)

**【考察】**中性脂肪とライフスタイルに関連が多くみられた。肥満・喫煙と脂質代謝異常の関係、食習慣と肥満の関係は共に多くの文献で指摘されており、同様の結果を得た。総コレステロールでは、異常率も少ないためか関連のあるライフスタイルは中性脂肪と比べると多くみられなかった。40代男性の入眠時刻は超過勤務時間・睡眠時間・間食夜食回数に、50代男性のストレス日数は超過勤務時間・外食回数・入眠時刻に相関がみられ、これらのライフスタイルの関連性も推測される。今後は肝機能や血糖も併せて関連を調べていく必要があると考えられる。